

## 『菅沼さん壮行稽古』



令和6年3月2日土曜日、11年前に入会された菅沼さんが、アメリカ転勤の為、道場に挨拶に来られました。神明会も16年目を迎え古参の有段者菅沼さんが、暫く不在になるは寂しいですが、また帰国された際には、道場に帰って来てくれればと思います。現在の皆様も、菅沼さんが帰ってくるまで技を磨いてまた再開出来ると良いですね。お仕事から急遽掛けつけてくれた前田さんはじめ、壮行稽古にご参加頂いた皆様に感謝申し上げます。



オランダ支部のジムのオーナーであるローランドさんが、田宮流居合術をはじめて、感じた事をご自身のブログで書かれていましたので転載させて頂きました。



成長と調和を受け入れましょう。仕事としても個人としても、私の人生を劇的に変えた個人的な事について共有したいと思います。ビジネスコーチとしてさまざまな格闘技に生涯情熱を注いでいた私は、経営者ならではのトラブルに巻き込まれることが多く、ジムの収益を継続するために愛する人との貴重な時間を犠牲にすることもありました。

しかし、人生には私たちを本当に必要なものへと導いてくれる素晴らしい方法があります。私にとって、その導きは、日本古来の武道である田宮流居合術の形で気付かされました。

他の分野で武術では修士号を取得していましたが、謙虚に全くの初心者として田宮流居合術の道に足を踏み入れました。

私の動機は……生活の喧騒の中で、より心の平和を求めるという欲求です。

田宮流居合術の稽古を通して、私は心の平安と集中力を発見しました。

この芸術の構造的で瞑想的な性質は、頭の中で絶えず続くおしゃべりを沈黙させ、行動を促し、今の瞬間によりよく同調できるようにするのに役立ちました。

この新たな認識により、集中力が向上しただけでなく、仕事上でも個人的にも、より果敢に行動できるようになりました。

私が田宮流居合術の魅力を感じるのは、それが身体的テクニックを超えていることです。それはあらゆる運動の根底にある深遠な哲学です。心、体、剣の調和の追求は私に深く共鳴し、道場を超えて人生への総合的なアプローチを提供します。私は田宮流居合術の技を磨き、その原則を生活のあらゆる面に組み込むことを決意しています。私は、この訓練が私の身体的能力を強化するだけでなく、精神的な回復力と魂の幸福も養ってくれると心から信じています。

この充実した事を続けるにあたって、私の指導者であるエドウィン・R・モレナール氏のご指導、日本の道場からのサポート、そして仲間の生徒たちのサポートに非常に感謝しています。安心して自分自身を見つめ、今最も役立つものを見つけ。自分自身の人生と、切っても切れない他の人の人生を豊かにするために、この技を習得する方法を見つけたい。